



「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」 2020年度第4回公募における交流計画の採択および実施の延期について

JST（理事長 濱口 道成）は、「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」の公募事業において、2020年度第4回公募により採択する交流計画を決定しました（別紙1）。

本事業は、アジアを中心とする国・地域の優秀な青少年を短期間日本に招へいし、最先端の日本の科学技術に触れることや大学・研究機関などでの交流活動を通じ、人材、研究交流につなげることを目的としており、2014年度に開始されました。本事業に参加した青少年が、将来アジアを中心とする国・地域のサイエンス・リーダーとして活躍し、国境を越えたネットワークを形成することも期待されます。

2020年度第4回公募では、2020年9月2日（水）から11月5日（木）までの期間に計14件の申請がありました。外部有識者を含む日本・アジア青少年サイエンス交流事業選考委員会による審査により、14件の交流計画を採択しました。

採択された交流計画における受入れ機関の内訳は、大学が12校、一般社団法人・国立研究開発法人が2機関、計14機関で、招へい対象者総数は116人となりました（別紙2、別紙3）。

新型コロナウイルス感染拡大への対応として、当面実施を延期し、各交流計画の実施日程は、日本、送出し国、受入れ機関、送出し機関の出入国・行動制限などに関わる方針・規制などに適合しているかを受入れ機関が確認し、JSTが合意することで確定となります。また、各受入れ機関においては安全衛生管理に関わる手順を明確にし、徹底することが実施の前提となります。

また、新型コロナウイルス感染拡大により出入国制限などが長期化していることから、今年度すでに採択済みの交流計画を対象としてオンラインでの交流を推進しています。詳細はホームページを参照してください（<https://ssp.jst.go.jp/online/2020.html>）。

「さくらサイエンスプラン」のホームページには、関連情報や過去の活動報告も掲載しています。

URL <https://ssp.jst.go.jp/>

<添付資料>

- 別紙1：2020年度第4回公募 交流計画一覧
- 別紙2：2020年度第4回公募 国・地域／コース／属性別 招へい人数
- 別紙3：2020年度第4回公募 受入れ機関別 採択件数
- 参 考：「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」概要

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 中国総合研究・さくらサイエンスセンター
さくらサイエンス交流事業推進室
〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3
前田 さち子（マエダ サチコ）
Tel：03-5214-8996 Fax：03-5214-8445
E-mail：ssp.press@jst.go.jp

No.	コース	受入れ機関名	送出国・地域名	送出国機関名・属性別人数	交流計画のテーマ
1	B.共同研究活動	金沢大学	ミャンマー：12人	[マンダレー工科大学] 大学生：3人 [国立工科大学モラミヤイン校] 大学生：2人、教員：1人 [ヤンゴン工科大学] 大学生：2人、大学院生：3人、教員：1人	プラズマを用いた効率的なオゾン生成法の高性能化に関する研究開発
2	A.科学技術体験	九州大学	中国：11人	[西北工業大学] 大学院生：5人、教員：1人 [西安交通大学] 大学生：3人、大学院生：2人	磁性薄膜の高精度特性評価研究を母体にした日中研究交流の拡張
3	A.科学技術体験	芝浦工業大学	スリランカ：11人	[ワヤンバ大学] 大学生：6人、大学院生：4人、教員：1人	ドローン製作体験型国際交流インターンシップ
4	C.科学技術研修	中央大学	中国：11人	[福州外語外貿学院] 大学生：10人、教員：1人	感性工学とデザイン科学の融合的な研修
5	A.科学技術体験	帝京大学	中国：17人	[西南大学] 大学生：10人、教員：1人 [青海大学] 大学生：5人、教員：1人	理工学分野における連携プログラム研究
6	B.共同研究活動	東京都市大学	マレーシア：1人	[マラヤ大学] 大学院生：1人	専門分野を俯瞰する能力の育成
7	C.科学技術研修	東京都立大学	中国：7人	[山東大学] 大学院生：6人、教員：1人	製造工程自動化技術研修
8	B.共同研究活動	豊橋技術科学大学	タイ：11人	[ナコンパノム大学] 大学生：1人、教員：1人 [ウボンラーチャターニー大学] 大学生：3人、大学院生：5人、教員：1人	高精度分子シミュレーションに基づく創薬に関する共同研究
9	B.共同研究活動	長崎大学	インド：5人	[インド統計大学] ポスドク：1人、教員：4人	医療生命領域におけるデータサイエンス研究ネットワークの構築
10	B.共同研究活動	名古屋工業大学	アルゼンチン：1人	[ナシオナルデルスール大学] 大学院生：1人	ナノセルロース複合化による磁性バイオナノコンポジットの創製と機能評価

No.	コース	受入れ機関名	送出国・地域名	送出国機関名・属性別人数	交流計画のテーマ
11	A.科学技術体験	日本大学	インドネシア：11人	[アトマジャヤカトリック大学] 大学生：9人、教員：1人、研究者：1人	ロハス工学に関する研究：日本大学工学部におけるケーススタディー
12	B.共同研究活動	北海道大学	中国：2人	[中国科学院海洋研究所] 研究者：2人	マグネシウム合金の表面処理および防食材料の研究
13	A.科学技術体験	一般社団法人 日中協会	中国：11人	[甘肃省生産力促進センター] 研究者：2人 [甘肃省科学技術庁] 研究者：2人 [甘肃省科学技術発展促進センター] 研究者：1人 [甘肃省科学技術情報研究所] 研究者：1人 [甘肃省計算センター] 研究者：1人 [甘肃省高新技術創業服務センター] 研究者：1人 [甘肃省科学技術庁研修センター] 研究者：1人 [甘肃省農業エンジニアリング技術研究院] 研究者：2人	日本における科学技術のイノベーションと科学技術サービスの発展現状および政策措置
14	A.科学技術体験	国立研究開発法人 理化学研究所	インドネシア：5人	[チョクロアミノトパロポ大学] 大学生：4人、教員：1人	最先端の計算機リソースを用いた物質科学研究の技術体験

2020年度第4回公募 国・地域/コース/属性別 招へい人数

別紙2

(単位：人)

国・地域		コース・属性		コース						招へい者属性												合計			
				A. 科学技術体験		B. 共同研究活動		C. 科学技術研修		高校生		大学生		大学院生		ポスドク		教員		研究者				その他	
				申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択			申請	採択
東アジア	中華人民共和国	39	39	2	2	18	18			28	28	13	13			5	5	13	13			59	59		
	大韓民国																								
	台湾																								
	モンゴル国																								
東南アジア	インドネシア共和国	16	16							13	13					2	2	1	1			16	16		
	タイ王国			11	11					4	4	5	5			2	2					11	11		
	マレーシア			1	1							1	1									1	1		
	ベトナム社会主義共和国																								
	ミャンマー連邦共和国			12	12					7	7	3	3			2	2					12	12		
	カンボジア王国																								
	ラオス人民民主共和国																								
	シンガポール共和国																								
	フィリピン共和国																								
	ブルネイ・ダルサラーム国																								
東ティモール民主共和国																									
南西アジア	インド			5	5									1	1	4	4					5	5		
	パキスタン・イスラム共和国																								
	バングラデシュ人民共和国																								
	スリランカ民主社会主義共和国	11	11							6	6	4	4			1	1					11	11		
	ネパール連邦民主共和国																								
	ブータン王国																								
モルディブ共和国																									
島しょ国	パラオ共和国																								
	ミクロネシア連邦																								
	マーシャル諸島共和国																								
	ソロモン諸島																								
	トンガ王国																								
	サモア独立国																								
	フィジー共和国																								
パプアニューギニア独立国																									
中央アジア	カザフスタン共和国																								
	キルギス共和国																								
	タジキスタン共和国																								
	トルクメニスタン																								
	ウズベキスタン共和国																								
その他(中米地域)	アルゼンチン共和国			1	1							1	1									1	1		
	ブラジル連邦共和国																								
	チリ共和国																								
	コロンビア共和国																								
	メキシコ合衆国																								
ペルー共和国																									
合計		66	66	32	32	18	18	0	0	58	58	27	27	1	1	16	16	14	14	0	0	116	116		

2020年度第4回公募 受入れ機関別 採択件数

別紙3

(単位：件)

大学

No.	受入れ機関名	採択数
1	金沢大学	1
2	九州大学	1
3	豊橋技術科学大学	1
4	長崎大学	1
5	名古屋工業大学	1
7	芝浦工業大学	1
8	中央大学	1
9	帝京大学	1
10	東京都市大学	1
11	東京都立大学	1
12	日本大学	1
	計	12

法人

No.	受入れ機関名	採択数
1	一般社団法人日中協会	1
2	国立研究開発法人 理化学研究所	1
	計	2

採択機関数：14機関

採択件数：14件

「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」概要

令和2年12月24日現在

1. 事業の目的

科学技術はこれからのアジア地域の未来を切り拓くものであり、未来を担うアジア地域と日本の青少年が科学技術の分野で交流を深めることは、これからのアジア地域と日本の未来にとって、極めて重要なことです。

「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」（「さくらサイエンスプラン」、略称SSP）は、産学官の緊密な連携により、アジア地域の優秀な青少年が日本を短期に訪問し、アジア地域と日本の未来を担う青少年が科学技術の分野で交流を深めることを目的とし、平成26年度より開始した事業です。本事業を通じ、アジア地域の青少年が日本の最先端の科学技術への関心を高め、さらに日本の大学・研究機関や企業が必要とする海外からの優秀な人材の育成に貢献することを目的としています。

2. 事業の対象となっている国・地域

[東アジア] 中華人民共和国、大韓民国、モンゴル国、台湾

[東南アジア] ブルネイ・ダルサラーム国、カンボジア王国、インドネシア共和国、ラオス人民民主共和国、マレーシア、ミャンマー連邦共和国、フィリピン共和国、シンガポール共和国、タイ王国、ベトナム社会主義共和国

[南西アジア] バングラデシュ人民共和国、ブータン王国、インド、モルディブ共和国、ネパール連邦民主共和国、パキスタン・イスラム共和国、スリランカ民主社会主義共和国、東ティモール民主共和国

[島しょ国] フィジー共和国、マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦、パラオ共和国、パプアニューギニア独立国、サモア独立国、ソロモン諸島、トンガ王国

[中央アジア] カザフスタン共和国、キルギス共和国、タジキスタン共和国、トルクメニスタン、ウズベキスタン共和国

[その他地域] アルゼンチン共和国、ブラジル連邦共和国、チリ共和国、コロンビア共和国、メキシコ合衆国、ペルー共和国

※各地域の国・地域名はアルファベット順

※ブラジル、チリについては調整中であり、一般公募プログラムにおいて採択された場合でも招へい時期の変更などをお願いする可能性があります。

3. 招へいの対象

招へいの対象は、高校生、大学生、大学院生、ポストドクター、教員などで、原則として日本に初めて滞在することになる40歳以下の方です。

4. 交流計画のコース

(1) 科学技術体験コース（Aコース）

日本の先端的な科学技術に触れる機会と日本の研究者・学生などとの交流体験を通して、科学技術分野における継続的な交流を促進するものです。

- ・滞在期間：原則として上限7日間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：単一機関から招へいする場合は、10人を限度とし、複数の機関から招へいする場合は15人を限度（ただし、1機関からの招へいが10人を超えないこと）とします。

（２）共同研究活動コース（Ｂコース）

国際共同研究のテーマ若しくは計画の策定、予備的な実験などの共同研究を開始する活動、あるいは具体的な共同研究に参加させる活動を対象とします。

- ・滞在期間：原則として上限3週間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：原則として10人を限度とします。

（３）科学技術研修コース（Ｃコース）

送出国・地域のニーズあるいは地球規模課題の解決に資する科学技術に関する具体的な技術・能力の習得機会を提供する活動を対象とします。

- ・滞在期間：原則として上限10日間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：原則として25人を限度とします（複数の国・地域から招へいする場合）。

※なお、1つの国・地域から招へいする場合の招へい人数は15人、1つの国・地域かつ1機関からの招へいの場合の招へい人数は10人を限度とします。

5. その他

さくらサイエンスプランについては、ウェブサイトやFacebook、YouTubeを通じて最新情報を発信しています。また、ウェブサイトに掲載の「活動レポート」については、過去に採択した課題に関し、受入れ機関や招へい国、招へい者所属機関の属性（大学・高校・高専など）、コース名を入力することで簡単に報告を検索できます。ぜひご覧ください。

- ・ウェブサイト：<https://ssp.jst.go.jp>
- ・Facebook：<https://www.facebook.com/sspjapan>
- ・YouTube：https://www.youtube.com/channel/UCTpHtASQ7JzM2Vh683D_uPQ/featured

以上